川崎競輪 開催情報紙

川崎スポーツ

川スポ 平成30年 8月号
【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル
川崎競輪場
http://www.kawasakikeirin.com/

8月9日(木)10日(金)11日(土)12日(日)

アーバンナイトカーニバル

GIII

昨年からスタートした夏の川崎G3はアーバンナイトカーニバルとして行われるナイター開催。8月9日を皮切りに4日間の熱戦が繰り広げられる。

S級戦はSS級やそこに肩を並べるトップ選手こそ参加していないが、上位で戦える選手や今後の成長が期待される若手も多く揃う。地元南関地区は川崎の若き闘将・東龍之介(神奈川96期)を中心に、ベテラン成田健児(神奈川75期)や、復調が待たれる勝瀬卓也(神奈川84期)らに加え、S級2班からは簗田一輝(静岡107期)、巴直也(神奈川101期)、志佐明(神奈川107期)、佐々木龍(神奈川109期)らのフレッシュな面々も揃い層は厚い。東北地区は当所好走する印象ある真船圭一郎(福島94期)を中心にする。関東勢は強力で、復調気配の池田勇人(埼玉90期)、鈴木謙太郎(茨城90期)の2人に注目。西日本ラインは実績ある荒井崇博(佐賀82期)やベテラン三宅伸(岡山64期)らを筆頭に、好調工藤文彦(岡山97期)や松岡篤哉(岐阜97期)といった上位に食い込むだけの力がある選手が多く揃っている。

ガールズケイリンは荒牧聖未(栃木102期)、奈良岡彩子(青森104期)、細田愛未(埼玉108期)、大久保花梨(福岡112期)らがシリーズの中軸となりそうだ。

S級主力選手
簗田 一輝
静岡・107期

傑出者が不在で激戦!

今シリーズ南関勢の機動型で最も高い競走得点を保持するのが、この簗田一輝だ。アマチュア時代でも輝かしい実績を残しており、その才能が競輪界で開花し始めている。6月の奈良F1で初優勝を飾り、G3でも名古屋と弥彦で優出を果たしている。初の記念決勝となった名古屋では、トップラスの精鋭が顔を揃えるなかで強発進。同県の渡邉雄太(静岡105期)に記念初Vを献上した。勝負所では勝ちパターンのまくりで勝ち星を重ねており、各地で若手とは思えぬ強心臓ぶりを発揮している。まくりがメインとはいえ今年は既に24勝をマークしており、大きくファンの車券にも貢献している。この川崎でも6月に完全Vを達成しており、このG3開催にも自然と期待がかかる。「川崎は結果も出せているし、イメージがいいですね」と本人も語る。南関勢の貴重な戦力であり、優勝候補の一角とみていい。

池田 勇人
埼玉・90期

まだまだムラはあるものの、池田勇人が着実に調子を取り戻しつつある。不安定な時期が続いていたが、試行錯誤してきたことが実を結んできたようだ。かつてはパワフルな先行とまくりでトップクラスと肩を並べる存在だったが、いまの池田は展開に応じた柔軟なレース運びもできる。引けない展開なら引かないし、先行、まくりに加えて自在性も出てきた。当バンクでは今年2月にF1優勝を果たしており、相性も悪くない。圧巻だったのが準決勝で、積極的に攻めると目されていた地元の堀内俊介を突っ張り主導権を奪う。松川高大(熊本94期)にまくられはしたものの、力強いレースで2着に残り優出を決めた。決勝は伊早坂駿一(茨城105期)の逃げに乗って優勝。自らの内容良い走りで引き寄せた好展開と言っていいだろう。今シリーズも関東の後輩をリードしつつ勝ち上がりを果たせば優勝争いに食い込む可能性は十分にありそうだ。

工藤 文彦
岡山・97期

以前までは「展開次第で一発ある」という印象だった工藤文彦であったが、近況は目覚ましい活躍を見せている。それまでも同県の選手は「練習ではもっと強い」と口を揃えるほどで、鋭いダッシュとスピードには定評があった。時折見せる豪快な一発を出しても「たまに勝つからいいでしょ?」と本人も笑い飛ばすほどにムラがあったが、100点前後の競走得点が107点台まで急上昇。その勢いを象徴するかのレースが7月名古屋F1の準決勝。逃げて強い短期登録の外国人選手ウェブスターの11秒3の先行を、後方7番手から仕掛けた工藤が11秒0でまくり切った驚きのレース。続く岐阜F1では竹内雄作(岐阜99期)や南潤(和歌山111期)らの強敵揃う決勝を勝って優勝。自分の型に持ち込めばG1で活躍する選手や主力外国人さえ破る高い能力を秘める。35歳と遅咲きではあるが、このままの勢いならG3制覇も十分にありえる。

ガールズケイリンが平塚競輪でスタートした2012年から、まくりを主戦法に常に上位で活躍してきた荒牧聖未。近年は新勢力が続々とデビューしているなか善戦を続けている。大きなタイトルこそ無いものの、デビューからここまで通算193勝、25回の優勝。勝率は4割、3連対率は8割を超える好成績はファンへの貢献度も非常に高いと言える。その荒牧は「7月のサマーナイト(松戸)では発狙いに行ったけどダメで。そのぶんも今回の川崎ナイターG3で頑張りたいですね」と強い気持ちで挑む。33バンクの松戸と比べれば、直線伸びる川崎のバンクは荒牧の戦法とマッチしそう。4日間の長丁場となるが、連日車券の軸として狙える。ガールズケイリン誕生から常に人気を背負ってきた豊富な経験と、切れ味抜群のまくり、差しでファンの期待に応えるだろう。

ガールズ主力選手
荒牧 聖未
栃木・102期

大久保 花梨
福岡・112期

児玉碧衣(福岡108期)ら多くのガールズトップクラスの選手を輩出している藤田剣次(福岡85期)に師事する大久保は、練習の環境も良く20歳と年齢的にもまだまだ伸びしろのあるスター候補。あっせん停止から復帰しても、まずまずの動きで更なる飛躍を目指す。「あっせん停止の期間に集中して練習することはできました。復帰して2戦は外国人選手と同じあっせんで苦戦したけど、そこで得るものもあったし奈良で優勝できているので。サマーナイト松戸は相手が強くて厳しかったけど、何としても競輪祭に出場するために賞金や点数の上積みをしていきたい」と、この開催にも重点を置いている。このバンクは昨年12月に完全優勝を果たしており、バンクとの相性は申し分ない。突出した存在が無いこの4日開催のシリーズで結果を出しておきたいところだろう。

URBAN BANK かわさきケイリン

決勝想定メンバー

予想	◎	▲	注				×	○
氏名(直近4ヶ月成績)	東 龍之介	池田 勇人	荒井 崇博	鈴木謙太郎	久米 康平	伊藤 成紀	佐藤 幸治	工藤 文彦	簗田 一輝
府県	神奈川	埼玉	佐賀	茨城	徳島	大阪	長崎	岡山	静岡
期別	96	90	82	90	100	90	92	97	107
級班	S1	S1	S1	S2	S1	S2	S1	S2	S2
1着	3回	3回	5回	12回	5回	5回	8回	11回	12回
2着	6回	4回	0回	7回	2回	4回	3回	6回	5回
3着	3回	4回	3回	2回	3回	1回	2回	2回	1回
着外	10回	12回	12回	5回	15回	11回	12回	5回	5回
棄権	1回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
失格	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
出走回数	23回	23回	21回	26回	25回	21回	25回	24回	23回
勝率	13.00%	13.00%	23.80%	46.10%	20.00%	23.80%	32.00%	45.80%	52.10%
連対率	39.10%	30.40%	23.80%	73.00%	28.00%	42.80%	44.00%	70.80%	73.90%
3連対率	52.10%	47.80%	38.00%	80.70%	40.00%	47.60%	52.00%	79.10%	78.20%
H数	0回	4回	1回	6回	8回	4回	2回	8回	2回
B数	0回	1回	1回	11回	9回	2回	5回	9回	5回
競走得点	110.68	108.21	107.05	108.76	104.68	107.57	104.96	107.79	109.56